平成27年6月9日

視察報告書

流山市議会議員
菅野浩考

視察日：平成27年6月5日　１３：００～１４：００
視察先：グロース勝どき

流山市でもこれから注力していかなければならない孤育て問題について学ぶため、「グロース勝どき」子育て支援マンションへ視察に伺いました。

孤育て問題（※１）を解消するため、地域の子育てコミュニティ創造で解決することをコンセプトに「プレイホール」を始めとする 「マナ viva！」「多目的室」「コミュニティガーデン」「じゃぶじゃぶ池」などを管理しマンションや近隣住民とのコミュニティ創出を生み出しています。

（孤育て問題（※１）とは・・・パートナーや親族の協力も得られず、近所との付き合いもなく子育てをしている状態のことです。）

※４５階建ての賃貸マンションです。
・２０１１年２月から入居開始
・４階～１１階が子育て世帯専用住居
・未就学児を持つ１００世帯が入居
・子育て世帯のお子様７０％は３歳以下

※１階～３階が共用スペース
・認定こども園
・ファミリーハウス
・小児科／歯科／眼科
・病後児保育
・ラーニングスペース（マナ VIVA）
・多目的室
・プレイホール／じゃぶじゃぶ池
・コミュニティガーデン

３人に一人が「地域で子どもを通じた付き合い」が無いといわれています。
（※２ 第二回妊婦出産子育て基本調査を参照）

子ども同士を遊ばせながら立ち話をする程度の付き合いがある人が、地域に「一人もいない」と答えた母親は３４％（※２）で３人に一人の割合にのぼります。
こういった付き合いが地域にある人・ない人とでは子育てに対する自信に差が表れています。

又、私も何度か過去にこのブログ虐待相談について綴りました。
虐待相談件数は２２年間で約６０倍に増加します。
虐待相談件数は、平成２４年度に６６，８０７件と２２年間で約６０倍（厚労省 社会福祉行政業務報告を参照）にのぼりました。
虐待要因の一つとして「孤独感」が挙げられています。

核家族化や都市化が進み、地域との繋がりも希薄化する中、そばに誰も頼る人がいないという状況は、子どもたちに暴言や暴力をという形で精神的ストレスをぶつけてしまうという、痛ましい現実を作りだしています。

こうした孤育て問題を、地域の子育てコミュニティ創造で解決しています。
流山市でも既に同じような問題が生じている地域もあり相談を受けています。
マンション住民と近隣住民との蟠りを取り払う為の仕掛けでもありますので今回の視察内容を考慮し、孤育て問題について積極的に市へ提言していきたいと思います。

以上